

とらびんきょうの冬

Tojinkyo

SSKA



No.205・2015 1.15



おもな記事

特集／新春鼎談 最近の透析環境をめぐる情勢……………	1
なかまのたより……………	9
とうじんきょう 活動のまど……………	13
投稿「私と東腎協」⑦ ⑧……………	15



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

障害者としての自立を心掛け 社会の一員としての役割を果たそう

NPO法人東京腎臓病協議会会長 藤田 吉彦



今年の干支はひつじ（未）。未は木の実や果物がこれから熟す前の状態を指すそうですが、さしずめ社会の大きな変化を前にして満を持している年とも言えそうです。

さて、本誌の新春鼎談でも触れています。全国の透析患者は約31万4千人（2013年）となりました。しかし、近年その伸びが小さくなっていて、2021年には34万人をピークに以後急速に減少に転ずるそうです。

この要因は糖尿病、メタボやCKD対策が進み、新規導入をする透析患者が減るため、年間1兆5千億円に上る透析費用が減る事になれば、財政的にも朗報といえます。

また治療法の進歩や新薬のおかげで、透析の合併症対策も進んでいます。血管系や骨代謝の疾患も治せるようになり、すでに石灰化した患部もいずれ治療できるとの

事で、個人的にも嬉しい話です。できるだけ長生きをして医学の進歩の恩恵に授かれればと思います。

高齢化時代の医療は、iPS再生医療や脳疾患やガン等に対する高度先端医療と並んで、寿命が相手となる「支える」医療、つまり残りの人生を充実させQOLを高めていく医療も大切となってまいります。Cure（治療）からCare（健康づくり、予防、療養など）へのシフトにより、病気になるって高額な医療に任せずにはなく、安価な予防医療で病気を食い止める方が約40兆円にもなる国の医療費負担の軽減には効果があると思います。

昨年暮、衆議院選挙が行われましたが、増税の延期によって財政健全化のプログラムは修正を余儀なくされ、今後は社会保障費を含む歳出の見直しや経済成長に伴

う税金確保と増税が避けられないものとなるでしょう。その際弱者である患者、低所得者の負担抑制やセーフティネットの構築に抜かりがないのか、充分に見守る必要があると思います。

最後に今年の東腎協の活動方針を申し上げます。

最後に今年の東腎協の活動方針を申し上げます。

昨年の会長就任以来できるだけ患者会や病院施設の訪問を心掛けて参りました。お陰さまで東部、中南部ブロックの皆様とのコミュニケーションが深まりました。今年には北部、多摩ブロックにお邪魔したいと思います。

企業経営では組織を良くする手法として三現主義があります。つまり「現場」に足を運び「現物」を手にとつて「現実」をこの目で見て、事実を知る事です。当たり前の事ですが、組織に問題が起き

風通しが悪くなれば、それは必ず現場に現れます。現場重視のこの手法は患者組織の活性化にも有効です。皆様の率直なご意見や悩みをお聞かせいただき、我々の活動に反映させたいと思います。

次に患者会活動の支援と並んで、社会的に何か貢献できる事業を研究したいと思えます。私達の活動は患者の「命と暮らし」を守る事を第一といたしますが、障害者として自立を心掛け、社会の一員としての役割を果たすのも最近では障害者福祉の理念となっております。

具体的には現在のCKD対策や移植の活動を更に進めるとともに、今後高齢化時代に対応し通院介護や災害対策等で病院や行政の協力を得た活動ができないか模索したいと思えます。

最後に以上の方針を成功に導くためにも最大のポイントは人材です。私達の考え方や活動に興味を持たれ、ボランティア精神で何か挑戦してみたいと思われた方は大歓迎です。是非一緒に活動いたしましょう。

会員の皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

新春鼎談

透析環境をめぐる情勢とiPS細胞の将来



秋澤 忠男さん

昭和大学医学部
客員教授



金子 智さん

全腎協常務理事



藤田 吉彦さん

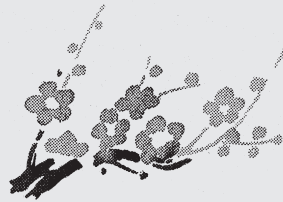
東腎協会長



板橋 俊司

司会・
東腎協広報委員長

2015年



目次	特集 新春鼎談…………… 1	2015年 年賀広告……………17
	「透析環境をめぐる情勢と iPS細胞の将来」	
2015年 5号	リレーエッセイ…………… 8	企業紹介……………21
	なかまのたより…………… 9	事務局から……………22
	私と東腎協⑦……………加々見俊六 15	編集後記……………22
	⑧……………杉本 聡 16	表紙のことば……………23

明けましておめでとうのご挨拶

司会 本日は昭和医大の秋澤先生、全腎協金子常務、東腎協藤田吉彦会長の皆様で、「最近の透析環境をめぐる情勢、高齢者問題、災害問題」などを話題に、新春のお話をお願いしたいと思います。

藤田 東京の透析患者は3万3百人（2013年度末）ですが、都民の患者は約2万5千人（東京都調べ）で、約5千人が他県の在住で東京で透析をしている患者さんです。そのうち、東腎協の会員は約4千人強で、組織率は2割以下なんです。しかも、亡くなられる方や就労している若い患者さんが入会して頂けないことなど会員は年々減少しています。したがって、患者会活動も停滞化して来ていて、東腎協としては社会貢献活動などにもっと力を入れて取り組もうと考えています。

最近の患者アンケートなどによると、患者さんの関心事の一つは助成、福祉など今後の透析医療の環境がどうか、二番目が合併症、そして患者さん体力の低下、運動機能の低下、生活の問題、災害時の対応などが多くなっています。

透析患者は6年後にピーク

秋澤 2013年末の日本透析医学会の統計では全国の患者は約31万5千人、これは全国民の405人に1人という計算で、毎年増加

しています。しかし増加は、2013年4千432人、2012年5千115人で、しばらく1万人を超えていましたから、患者さんの増加は鈍化していて、まもなく止まるだろうと言われています。同学会では、透析患者は2021年には約34万人で最大に達して、それからは減るだろうと予測しています。また、透析施設も伸びが減って来ていて、一昨年では約20施設しか増えていませんし、今後減って行くと思われます。

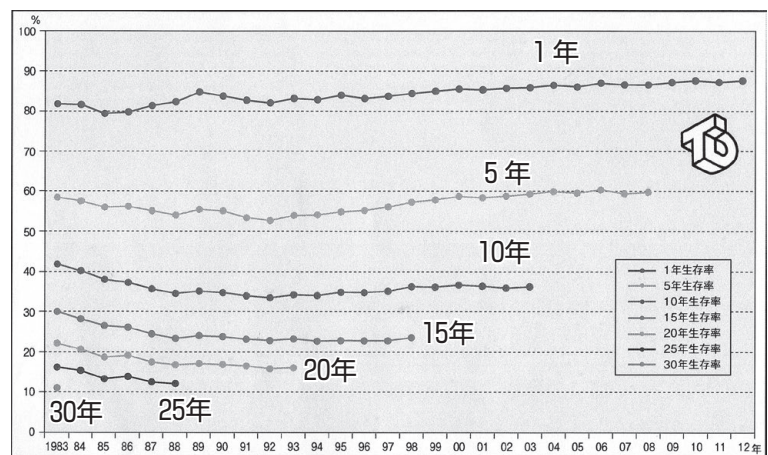
日本の透析患者は、「世界で一番長生き」と言われていますが、一方で移植が全く進んでいません。臓器移植法が改正されて、他の臓器の移植は進んでいるのですが献腎移植は減ってきています。年間1千600人位の腎移植がされていますが、生体腎移植が圧倒的です。したがって、移植する患者数が伸びずに透析患者が増えていますが、それもピークを迎えるだろうという事です。

先の統計ですと10年以上透析をしている患者が約8万4000人、20年以上で約2万4000人です。諸外国ではこんなに長く透析を受けている人は少ない。日本の最長透析者は45年7か月です。

もう一つの問題点は高齢化で、患者の平均年齢は67・2歳、導入平均年齢は68・7歳で非常に高齢化が進んでいます。したがって、高齢者や長期透析者の合併症対策が急務です。

一方、透析療法やそれを支える薬物療法も

導入後1年・5年・10年・15年・20年・30年生存率の推移



大きく進歩しており、患者さんが高齢化しても生存率は維持されています（表参照）。

藤田 外国の場合はどうなんです？

秋澤 日本の患者さんが亡くなる率を1とすると、アメリカ・カナダは2・8倍、ヨーロッパは2・4倍です。その位、日本の透析は世界のお手本になっていて、日本の患者さんは世界の患者さんに比べて2倍も3倍も長生きできているのです。

その一つの要因は内シャントです。日本の患者は約95%が内シャントですが、アメリカでは10年前まで内シャントは3割、4割が人

工血管、残りがカテーテルで、菌が入ったりして死亡率が高かったのです。そこで、今では内シャントを積極的に推進しています。

藤田 私もカルフォルニアで透析やったことありますが、股の間から針を刺していたのを見ました。

石灰化と動脈硬化は カルシウム、リンの コントロール

藤田 合併症対策は進んでいるのは分かりましたが、私は血管内膜の石灰化、動脈硬化の進行が止まりません。

秋澤 透析患者さんの死因の第1番は心不全、2番が感染症、3番目が癌で4番目が脳血管障害、5番目が心筋梗塞で、これらが5大死因と言われています。

治療や薬の進歩でずいぶん減っては来ていますが、患者さんの4割近くが心臓血管系の病気で亡くなっています。

透析患者さん特有の血管石灰化による動脈硬化が大きな原因ですので、カルシウムや蛋白質はきちんと摂って栄養状態を落とさないで、カルシウム、リンのコントロールをするのが重要なことです。吸着剤等でリンを抑える事が基本となります。専門でない医療者もおられ



日本の透析患者は、「世界で一番長生き」と言われる一方で、移植が全く進んでいません。他の臓器は進んでいるのですが…



左から金子全腎協常務理事、藤田東腎協会長
司会、秋澤昭和医大客員教授

るので、学会でも指針を作って、リンの値は「6」以下にしましょうと治療方針をドクター、スタッフに啓発しています。

秋澤 それでもリンの数値が下がらない人に対しては、1つは透析量を増やすことです。しかし外国人のように血液流量400、500cc/分で3時間透析というのはダメです。日本の4、5時間の透析が良い事は、外国の2・8倍の生存率が証明しています。透析量を増やすには6時間、7時間と長時間透析をする。あるいは週4回以上の頻回透析をする方法があります。ある施設では8時間週3回透析をすると、リンの吸着薬を飲まなくても

済む患者さんも出てきています。

しかし、今の透析医療制度では月に14回を超えて透析をやり、透析施設は技術料をもらえません。ではどうしたらよいか、自宅で行う在宅透析です。在宅では回数や時間の制限はありませんから、若くて自分で出来る方は、積極的にやってほしい。好きな時間に自由に長時間透析が出来ます。好きなように食事もできます。フルマラソンをやっている人もいます。

藤田 すでにある石灰化はどうなんですか？
秋澤 研究はされていますが、現状では石灰化を無くすのは無理です。しかし、将来的には可能性はあります。合併症の治療方法はいろいろな試みがされていますので、是非長生きしてください。(笑)

金子 私は昭和54年導入で、当時はコイル型のダイアライザーを使っていました。セロハン膜をぐるぐる巻いてその中を血液が通るので、たまに膜が破裂して透析液が血液で真っ赤になったこともありましたね。当時は除水が難しかったので水分制限が辛かった。ですから、リンのことなど考える余裕がなかったです。

そんな長生きできるとも思わなかったし、4、5年だと思っていましたから…。当時10年程度で長期透析だったと思います。

秋澤 当時は若い方を治療するというのが方針でした。透析して働けるような状態にするために夜間透析をしましたが、週3回出来る

人はまだ恵まれていました。2回という人もいましたから。まだ、糖尿病の人は透析の対象ではありませんでした。

藤田 余談ですが、私は透析後のリンが「2」くらいまで下がってしまっんですが、大丈夫なのでしょうか？

秋澤 大丈夫です。家に着くころにはすぐ元に戻ります。細胞中のリンが流れ出てきますから。透析前でもリンが低い長時間透析の患者さんには、透析液にリンを入れる工夫も行われています。

藤田 合併症については、医学の進歩で長生きすれば希望が持てるという事ですね。

司会 透析の地域格差というのがあるんですか？

秋澤 地域格差は無いように努力しています。



和やかに歓談する皆さん

透析医療のレベルは全国一律で、標準治療ができる様に治療の指針が決められ、最低限行うべき治療目標は、学会が定めて啓発活動を行っています。各施設がどれくらい指針を守っているかを、インターネットで開示しようという運動も進んでいます。患者さんが病院を選ぶ場合にも、この様な事を参考にされるといいと思います。

金子 地方の施設数は減ってきていると思います。特に夜間透析施設が減ってきています。仕事をされている患者が夜間透析を受けられないで苦労している話は聞きますね。就労者が少なくなってきたことも夜間透析減少の要因だと思います。

東腎協のCKD対策と 社会貢献

司会 東腎協としては社会貢献も活動の大きな柱として、CKD対策にも積極的に取り組んでいます。藤田会長、東京の活動をお話し下さい。

藤田 私としては3つの活動が重要だと思っています。

一つは東京都と共催で毎年3月に開催している「都民のつどい」という啓発活動です。

二つ目は、荒川区や練馬区など市区行政レベルで、メタボ対策として糖尿病の重症化予防プログラムを作り始めています。具体的には糖尿病患者の方から希望者を募って、継続

的に行政からのコンサルティングを受ける。6か月間、食事、運動などをチェックしてもらって、食生活、生活習慣を改善して透析にならないようにするという事で大きな効果を上げています。一回の人数は60人〜100人だそうですが、もし東腎協が関与して東京全体に広げられれば、大きな成果が得られると思います。

三つ目は、東京都との毎年の予算要請交渉の中で、メタボ対策への取り組み強化を要請していきたいと思っています。

司会 日頃のCKD対策が重要かと思われませんが、秋澤先生いかがですか？

秋澤 CKDは今や国民病ともいわれ、全国で約1300万人、成人人口8人に1人がCKDとされ、600万人位が将来の透析や移植あるいは心臓疾患の予備軍です。

2006年ころから学会を上げてCKD対策に取り組んで来ました。メタボ対策と同じくらいに重要で、講演会を行ったり、マスコミなどの媒体を使って普及、啓発活動をやってきました。近年、透析の導入患者が横ばい、ないし減少してきているのもこうしたCKDの普及、啓発活動が効果を上げてきた結果だと思っています。

第一に国民の皆様はこの病気の重要性を知って頂くこと。

第二に健康診断を受けてもらい、蛋白尿や腎臓の働きが悪かった場合、きちんと医療機関を受診して頂く事が大切です。医療機関で

は腎臓の専門医に送るべきか、自分の所で様子を診ていいのか、という振るい分けのシテムが出来上がっています。

第三には、予防という事で、メタボ健診で異常のあった人は保健士さんからきちんと指導を受ける事が大切です。企業では義務付けられています。地域で健診などを受けていない方々を区市町村のレベルで拾い上げていく事が大事です。東腎協がそうしたことに取り組んでいるという事は非常に重要なことだと思います。

司会 こうした地域の医療連携について、全国的にはいかがですか？

藤田 地域の医療連携については、広島県の呉市で大きな成果を上げていて、その結果、荒川区、練馬区、葛飾区が参考になっているようですが、まだまだ立候補する方が少ないという問題があります。

災害時の透析治療

司会 話は変わりますが、災害時にどのくらいの期間透析をしなくても大丈夫なのでしょう？私どものアンケートでも患者さんの大きな関心事です。

秋澤 透析ができないと、水と塩が体に溜まって心不全になる、カリウムが高くなって心臓を止めてしまいます。この二つが大きな事です。したがって、災害時にどのような状態で、何をどれだけ食べるのか、にかかってき

ます。

お願いしたいのは、大災害が起きたら一刻も早くこの地域から避難していただきたい。東京都全域の被災でしたら、電車も飛行機も動きませんから、船に乗って名古屋や大阪、仙台など遠隔地に躊躇なく離れてほしいのです。水が出ない、電気が来ないなどインフラがありませんし、人手も機材も不足して従来の透析患者さんに治療が回らなくなる。



お年寄りの患者さんが非透析日にリハビリをして活動性が上がり、合併症の治療にもつながっています。

高齢化と運動機能の低下と腎臓リハビリの大切さ

司会 次に高齢化の問題ですが、運動機能の低下などをどうしたらよいのでしょうか

秋澤 高齢化による運動機能の低下は透析患者さんだけの問題ではありません。一般人すべてに関わる事ですが、体力を維持するためにはきちんと栄養を摂って、リハビリをする、運動をするという事が大切です。

透析患者のリハビリは今まであまり注目されていませんでしたが、心筋梗塞患者さんが、徐々に運動量を上げて行くという心臓リハビリの研究が進んで、透析患者や腎臓の悪い人にもリハビリテーションを進めようと、数年

ですから、一定期間の薬を確保して、自分の透析データ、障害者手帳などをいつも身近に置く事が大切です。そして一刻も早く避難する。東京都も対策をとっていますし、透析医会も広域の災害時ネットワークを持っていて、どこへ行けば透析が受けられるかがわかる様になっています。一番の問題は患者さんが動きたくない、家族と離れたくないという迷いです。

前に日本腎臓リハビリテーション学会というのが出来ました。一部の病院では透析患者のリハビリを専門家がかかわってやるという動きも出て来ています。たとえば、寝ている間に自転車を漕いだり、ゴムを引っ張ったりして筋肉を付けるなどいろいろな行われています。また、お年寄りの患者が非透析日にリハビリをして活動性が上がり、合併症の治療にもつながってきています。

また、日常生活でも、外出したり自分で通院できる人は病院の通院送迎に頼らないで、自力で通院することが大切です。週三回病院に通う、そのことが大きなリハビリになります。

藤田 我々の調べでは、現状では4分の1の人が送迎サービスを受けています。特に高齢者の方は約半分の方が利用しています。

秋澤 病院の側も患者さんが減って行く、消

費税増税などで経営も厳しくなるなど、送迎サービスの余裕がなくなっています。ですから、どうしてもという方以外は自助、共助、公助の手段を駆使して自力で通院して頂ければと願っています。

司会 高齢化と助成制度の今後はどうなのでしょうか。

秋澤 透析患者さんの年齢的分布が今後どうなるか（図参照）。以前は若い方が多かったのですが、現在は75歳以上が増えてきて高齢化が大変大きな問題となっています。

肉体的な問題だけでなく、認知症や精神的な問題も増えてきています。透析中に自分で針を抜いてしまうなど、抜針事故もあります。患者さんの手足などを縛ったり拘束はできませんが、ずっと付いて見ている訳にもいきません。

藤田 どういう対策があるのでしょうか？

秋澤 各施設が必死に対策を練っていますが、ナースセンターのすぐ前のベッドに置いたり、血液が漏れたらすぐセンサーが鳴るなど工夫をしています。

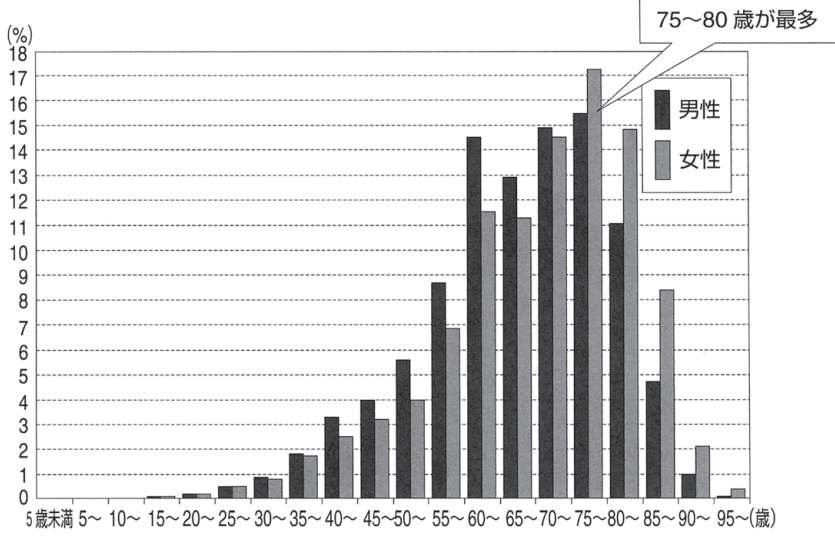
では、自力で通院できない、あるいは認知症の方々をどこに収容し、治療するかが問題です。この度の医療保険の改訂で、大きな病院に入院していた透析患者さんが療養型病床に移動する動きが加速すると予想されます。療養型病床というのは1人いくらと医療費が決まっています、透析患者のように高い薬を使う方は引き受けられなかったのですが、この

度の改訂で一日千円の請求が出来るようになりました。また老人ホームなどの介護施設に入所されても、どうやって透析施設に運ぶかなど大きな問題です。

藤田 通院対策では、東腎協でも病院、移送業者、行政、患者自身など、四者で負担するシステムが可能かどうか検討しています。

金子 通院対策、施設入所・入居は全腎協としても重要な課題と考えています。療養型病床は診療報酬が包括化され、患者さんが十分

透析導入時の性別の年齢分布



な治療を受けられないことが危惧されますね。さらに老々介護では在宅治療は難しいと思います。

サ高住や特養も患者の費用負担や通院の問題があります。病院を併設している施設もありますが、車いすでの移動が困難な施設もあり、都心ですと土地の確保も大変です

診療報酬の現状と病院の後継者問題

司会 診療報酬の現状がそのままでもいいのか。医療界の考え方をお聞かせください。

秋澤 透析医療費は全体で1兆5千億ぐらいとされ、総医療費の中でもかなりの部分を占めています。この間患者の数は増えていますが、一人の患者にかかる医療費はずっと削減されてきていて、透析医療費全体の伸びは厳しく抑えられてきています。

つまり、病院として利益はどんどん削られてきています。一方で病院は常に設備投資をしなければならぬ。例えば透析液をきれいにするフィルターは医療費で賄われていません。さらに薬の値段が高くなってきています。しかし、全体の医療費は据え置きですから、薬の割合が高くなると透析医療機関の経営はますます圧迫されています。

次に、今までの透析医療を支えてきた第一世代、第二世代の医師が引退するようになってきました。パイオニアとして日本の透析医

療を引っ張ってきた先生方ですが、後継者がいない。

やむなく病院を売却しても、新しい経営者が同じような意識でやってくれるかというところ、必ずしもそうではない。透析医療を支える心意気をもった医師が少なくなってくるのではないかという危機感があります。経営的にも旨味もないし、盆暮れもない、休日もないきつい仕事で、後継者もいなくて廃業する。そういう医療機関が出てくる懸念があります。日本が世界で最も優れた透析医療を続けられてきた基盤が危うくなってくる可能性があります。

金子 患者も昔は分からないことがあれば、医療スタッフとあししよう、こうしようと一緒に勉強したのですが、最近は病院にお任せです。

導入期に体験した透析治療がスタンダードだと思っている患者も少なくありません。検査の回数が少なくても疑問も持たない。検査結果の数値もよく知らない、そういう患者が多くなってきたように思います。

夢の治療 iPS細胞 将来展望は…

司会 年頭に当たりました、患者の夢という

iPS細胞でできた腎臓が作られて、透析しなくてもいい時代が、必ず来ると思っています。



鼎談は2時間にわたって行なわれました

か希望というか、iPS細胞などの将来展望はいかがですか？

秋澤 患者さんの団体がiPS細胞の研究に寄付されたりして、すごく期待されているのがよくわかります。今まで腎臓は実用化される最後の臓器（脳は除く）ではないかと言われてきましたが、昨年ずいぶん進歩して、最後かもしれないがそれまでの期間は短縮されています。夢の治療ですが、iPS細胞でできた腎臓が作られて、透析しなくてもいい時代が必ず来ると思っています。

一同 必ずですか？
秋澤 必ず来ます。ただそれがいつ来るかと

いう事です。

金子 患者自身も、自分でもう少し頑張って努力してほしいですね。

長時間透析は予後が良く、食事制限が緩くなるという事ですが、でたらめな生活して良いという事ではありません。原点到り帰って食事管理、運動管理をきちんとする。薬の使用量などが少なくなれば、それがひいては医療費を抑えることにも繋がります。

医師や医療スタッフと連携して、患者として自分で出来る事はやって行く事が大切だと思いますね。CKD対策にしても私たちの経験、苦しみを味わってほしくないことを訴えるなど、まだまだ出来る事はあると思います。金子 秋澤先生からご覧になって、患者会は今後、どういう事を入れたいと思われませんか？

秋澤 先程、藤田会長は組織率が徐々に下がっていると云われましたが、患者会には「こういう力があるんだ」ということを、患者さん個々に示していく事が大切だと思います。

国などに要望するに当たっても、患者会はすごく大きな力を持っています。医師会や学会などよりも大きな力を持っています。患者会の希望・要望は大変尊重されますが、それには高い組織率を保つことも重要です。

司会 新年早々、石灰化やiPS細胞など明るい話題もありまして、日常生活の改善の重要性など大変よく理解できました。本日は長時間有り難うございました。

リレー エッセイ

毎年一回、人間ドックを受診していた結果、多発性嚢胞腎、高血圧症を指摘されていきました。経過観察をすると言うことで、紹介先の広尾日赤医療センターの腎臓内科を、月一回受診して降圧剤を服用していました。

腎機能には特に気をつけていませんでした。食事に特に気を使うことなく、週2、3回酒を飲み、食べたい物を食べ、趣味として、春から秋には、ゴルフ、海釣り、トレッキングを楽しみ、冬にはスキーと趣味を満喫する生活を過ごしていました。

突然、嚢胞から出血

平成10年4月の夜7時ごろに、下腹部がチクチクと痛み始めました。夜中に激痛に変わり眠れぬ夜を過ごしました。翌日の朝に光が

透析は自分のライフスタイルの一部

丘日大病院を受診したところ、嚢胞からの出血が認められ即入院となりましたが、ベッドの空きが無かったために、日大板橋病院に救急車で搬送され3カ月入院治療しました。

その後、郷里の青森市内の病院に転院して治療しましたが、血液検査で腎機能が落ちてきていると言われ、主治医より今後は、透析になりますと言われました。家族の誰一人も腎臓病になっていないのに、何故、自分が腎臓病なのかと愕然とし、落ち込みました。透析の知識が全くなかったので、今後の生活はどうなるのか、仕事は続けられるのか、ゴルフ、スキー

は出来るのか等々不安の日々を過ごしました。

石灰化から腎臓を摘出

透析導入をすることになり、右腕に内シヤントを作りつつ、時間を自由に使える腹膜透析を選択しました。腹膜透析は約2年間行いましたが、その間に3回腹膜炎になりましたので、血液透析に切り替えました。透析治療を続けるなかで腎臓が徐々に肥大化して、嚢胞の一部に石灰化があり、悪性腫瘍の可能性もあるので、平成16年、平成23年に二度にわたって腎臓を摘出

しました。さらにシヤントに狭窄がたびたび発症して、PTAのOPを17回行っていますが、透析治療は順調に続けられています。

先人達に感謝して、 これからも頑張ります

私たちは現在、過去に患者会の皆さんの活動に於いて勝ち取った「透析治療無料化」の恩恵を受けています。この活動を患者全員で受け継いで行く責務があると思います。先人達の活動に感謝の気持ちを持ち、将来に亘り医療費を守るために、患者会に入会し、患者会の更なる団結を強めることが、必要だと思えます。

現在の透析治療は、医学の進歩により長期透析が可能になっていくと思えます。医師、看護師、メデイカル、の皆さんに感謝しつつ、透析は特別なものではなく、自分のライフスタイルの一部であると受け止めて、今後も治療していきたいと思えます。

工藤 育夫さん



透析16年 (59歳)

NPO東腎協オプザーバー

東海病院ひまわり会



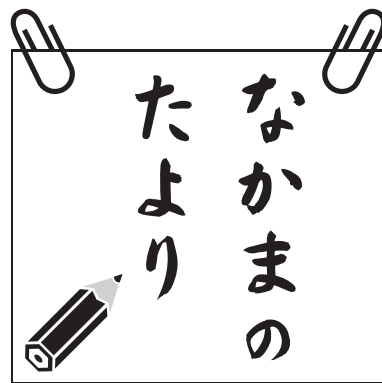
白樺湖畔で

練馬桜台クリニックスさくら会恒例の旅は、10月5日(日)今回は白樺湖畔の千本の黄金のアカ

(練馬桜台クリニックスさくら会)

岩上 健美

「白樺湖畔」旅行記



シヤと松原湖近くの白樺林を目的地に決めました。1週間前より天気予報とにらめっこ、あまり良くない予報に残念。「何心と秋の空」と期待していたが当日は朝から雨。

朝8時クリニックス前を出発。中央道は雨の故か順調。昨年同じ日に個人的に下見に行ったときは山頂より白樺湖が見え、黄金のアカシヤも輝いてこれは一見の価値ありと思いましたが。現地着。問題のリフトは動いていて一安心。山頂に到着。湖も山々も展望は無理。早々に写真タイム、昨年はコスモス(チョコレート色)は終わりに近かったけれど今年は満開、紫色のコルチカムとの色のコントラストは楽しい。昼食はレイクサイドプラザでランチバイキング。次の目的地松原湖は車窓からパス。近くの白樺林での写真タイムは是非とバス前の林でパチリ、早々にバスに戻り帰路に。車中で東腎協岸里事務局長出演のビデオを皆で見る。関越道も渋滞もなく、順調に練馬7時に到着し、忙しい一日でした。

「東京スカイツリー」バス旅行

梅原 秀孝

(府中腎クリニックスけやき会)

11月2日(日)患者会恒例のバス旅行が東京スカイツリーを目指し、総勢36名を乗せ10時15分に府中を出発しました。府中腎クリニックスから、外山婦長さんを始め3名のスタッフが参加して頂きました。約1時間ほどで東京ドームホテルに到着し、11時30分より約1時間ランチバイキングを美味しく頂き、みなさん満足の様子でした。東京スカイツリーには12時50分頃に到着し、高速エレベーターに



東京ドームホテル1Fロビー(平山郁夫画伯の彫刻画)

乗り展望台に着きました。天候はやや曇りがちでしたが、360度パノラマの東京の景観を満喫し素晴らしかったです。

また、たくさんのお土産を手にして、バスは帰路に向かいました。帰りの車中にビンゴゲーム等をして、楽しいバス旅行であったと皆さんに喜んで頂きました。

婦長さんからは、日頃の患者とは別人のようで、皆さんの笑顔が何よりのお土産ですとおっしゃって頂きました。

吉祥寺あさひ腎友会 講話会報告

小野 誠

日時…2014年10月19日 10時30分～12時00分 昼食12時15分～12時40分
場所…講話会場は武蔵野商工会議所会議室 昼食は吉祥寺第一ホテル洋食バイキング「パークストーリー」
参加者…吉祥寺あさひ患者会会員と付き添い20名
講師…吉祥寺あさひ病院看護師 滝沢サユミ課長
講話…透析患者の栄養と運動、透析患者いろいろ

バス旅行検査値気にし健闘
(検討)す

小野朝子(医療スタッフ)

味噌汁を小さい椀に

代えて飲む 吝嗇漢

透析ってなにをするのと

孫が聞き 神野克之

真夏日に飲んで良いやら

悪いやら 倉持克己

看護師のスキルの高さ

感じている 丸林将

ペンレスに感謝穿刺が

怖くない 愛好者

香由美さんもう別れては

くれないか 遊び人

当患者会では講師を招いて勉強会をしたり、院長や医療スタッフとともに親睦会をしたり、年一度の慰安旅行、川柳コンテスト等を開催しています。

幹事会、勉強会

そして忘年会

山崎 弘

(東海病院ひまわり会)

12月初旬というのに寒波到来の大雪騒ぎの7日(日)午後1時から本年最後の東海病院ひまわり会の行事開催となりました。幹事会には山崎弘会長以下幹事7名が出



東海病院ひまわり会勉強会

席し4月以降行ってきた諸活動、旅行や勉強会そして練馬腎患者ネットワークなどの活動についての報告や反省を行い、今後いっそうの会員現在64名、対しての盛り上げ方法について話し合った。課題として現在NPOで行われている患者の病院への送迎が話し合われ、しばらく静観し何が患者のためになるかを考えることとした。

そのまま引き続き午後2時15分より田川幹事主導で透析患者への心臓への影響やそれらに関する疑問について、江本病院長、永田医師そして他スタッフの方々の出席(12名)のもと、活発な勉強会が

催された。

4時半からは場所を変え、今年の悪かったことを忘れる「忘年会」の実施。参加は江本病院長以下看護師長、技師長含め9名の病院スタッフと患者18名、計27名となった。

病院の全患者に声をかけた割には参加者が少ないと言うべきかもしれないが、今年忘れたくないようないやなことのない人が多かったと納得し、一層の運上昇を目指し、1等5億円の宝くじ10枚を景品としジャンケン大会(1位5枚、2位3枚、3位2枚)を行った。さて誰が5億円を手に入れることができるか期待して来年もがんばって透析をして生き抜きましょう。

江戸川区腎友さつき会

日帰りバス研修旅行

宗像 聡之

(森山友の会)

11月16日(日)行楽シーズンまったただ中、晴天にも恵まれ、参加者38名と供に午前8時に船堀駅から山梨方面へ出発しました。

最初の目的地は2013年に世界文化遺産に登録された富士山の



さつき会日帰りバス旅行

構成資産の一部として認定された【忍野八海】で国の天然記念物・名水百選にも指定されたところで、午前10時20分に着きました。富士山に降った雨や雪が長い年月をかけ伏流水として地下水脈を流れ湧き出た池ですが、水深8mの底の魚が見えるほどの透明度の高さ、厳かで神秘的な湧水池に驚きました。

その後、山梨・甲府の奥座敷【ホテル神の湯温泉】で懐石料理を堪能し、源泉かけ流しの良質な温泉で手足を伸ばし、日頃の疲れをのんびりとリフレッシュしました。そして最終目的地のマンズワイン勝沼ワイナリーへ3時20分到着、

ワインの醸造設備を見学しました。地下の樽貯蔵庫では樽にはいったワインがゆっくりと熟成の時を過ごして、ひんやりと静かなため時の流れが緩やかに感じられました。そして待望のワインの試飲で巨峰やブルーベリー、かりんなどいろいろなワインをちびちび沢山いただき、ほろ酔い気分のいい気持ちのまま帰路につきました。甲府盆地の夜景がとてもきれいに感じられました。

帰りの道中、東腎協事務局長の岸里さん出演のDVD【たけしの健康エンターテイメントみんなの家庭の医学】を鑑賞し、渋滞に巻き込まれましたが午後9時に無事到着しました。

恒例の望年会やりました

栗本美智子

(日野クリニック腎友会)

12月7日(日)、恒例になりました日野クリニック腎友会の「望年会」を行いました。「忘年会」ではなく来年もがんばろうという意味で「望年会」と称しています。今回は日野駅前の居酒屋「ほほの北海道」で、参加は会員外4名を含む17名。今日だけは…とり



日野クリニックの望年会

んを忘れて、お刺身、鍋をつつきました。

二次会は、会員さんがやっているスナック「はっぴー」。ビンゴ大会、カラオケで大盛り上がり、日頃のうつぶん?を晴らしました。

新会員さんが3名入会してくれました。

クロアチアに

行ってきました!

長井久美子

(にこたま会)

11月25日から9日間、クロアチアに行ってきました。観光収入が政府予算の30%を占める観光立国とはいえ、ベストシーズンではな

いので観光客は少ないとのことでした。

それでも1100以上の滝があるプリトビチェは雨が多い季節とあって、水量の多い河の上を遊歩道を渡って越えるのはかなり恐かったです。北部首都ザグレブは内陸で肉料理が多くシベニク、スプリットと南下するに従い魚介類の食事が多くなりました。昔の城塞都市の面影を残す街々ですがそれぞれ特徴があります。

海外旅行をするという、よく透析のことを聞かれます。私はヨーロッパしか行ったことがありませんが経験したことを書いて見ます。

個人旅行は2回、ツアーは5回ですが1回を除き透析の手配はJTBさんです。JTBの透析つきのツアーでは透析には、添乗員さんが付き添ってくれますし、現地の通訳さんかガイドさんも来てくれますので安心です。個人旅行ですと、地図は用意して下さいましたが、ホテルにタクシーを頼み自分でお金を払って一人で行かなくてはなりません、私の拙い英語でも身振り手振りを交えて何とか通じました。

穿刺針は金属製で透析中は腕を動かさせません。また除水量についてはかなりアバウトです。

まず、透析着に着替える場所があり着替えるように言われたのは2、3ヶ所です。たいていはトイレで着替えるか着ていった服です。透析途中の朝なら朝食(パンと飲物程度)夕方ならかなりしっかりした食事が出ますがこれも除水量には計算されません。自己管理が重要です。

それでも旅行するのは、楽しいからです。不安な方は是非ツアーから始めてみて下さい。GOOD LUCK!



公園プリトビチェの滝の前で

とうじんきょう 活動の まど

北部ブロック

第2回

正会員会議&昼食懇親会

理事…古木直之

日時…平成26年11月9日(日)

午前11時～午後2時

会場…「正会員会議」喫茶室
ノール菓鴨店 会議室
「昼食懇親会」寿し常菓
鴨店

第一部「正会員会議」に出席した正会員及び代理人は、11患者会12名、理事会からの出席は藤田会長、理事3名、オブザーバー3名で総計18名になりました。

定刻11時に榊原ブロック長の開会挨拶で始まり、藤田会長の会長としてのブロック活動へのメッセージが語られました。議事に入り

今年度内の「北部ブロック交流会」(2月か3月に実施)の実行内容について討議しました。

内容として「医療講演会」「レクリエーション」「バス旅行」「観劇」等の中から理事、オブザーバーから「再生医療の講演」「災害対策に関する検討会」を提案しましたが、正会員諸氏からも「災害対策」に対する意見が多く出され、坂本理事の「東海病院」「行政」「通院送迎事業者」三者一体の練馬区での活動が参考例として説明がありました。透析患者にとって非常に大切な「災害時の自分達の命を守る」が現在の緊急課題と認識し、



北部ブロック正会員会議

実行内容として「災害時の透析医療」をテーマにする事で一致しました。

第2部「昼食懇親会」会場を近くの「寿し常」菓鴨店に移動し、会費お一人2千円、参加者15名で、午後1時前から坂本理事の司会進行で始まりました。「懇親会」では、各患者会の抱える問題、悩み、情報交換、各自の症状に至る広い範囲での親睦交流を深めて2時過ぎに盛会の内にお開きとなりました。

東部ブロック

2014年度第1回

正会員交流会

東部ブロック長 石井虎二

第1回目の交流会は2014年10月19日(日)江戸川区総合文化センター2階和室の間で会員21名+理事7名計28名の参加で実施。今回は正会員と各患者会の会長を対象としましたので、普段の患者会活動のご苦労を考え食事会も含ませてもらいました。

交流会の内容は予定時間の12時より酒井理事の総合司会で始まり、ブロック長の石井理事の挨拶、続



東部ブロック正会員交流会

いて東腎協藤田会長の来賓挨拶があり、終わり次第戸倉副会長の乾杯音頭で昼食会に移り、この時間を利用してアンケート用紙(各患者会のありのままの現状報告)を配りアンケート記入をお願いしました。

交流会は2部制を取り、1部の方では自己紹介と各患者会の現状報告をしてもらい、休憩を挟んで2部では戸倉副会長の進行でアンケート結果報告、東腎協などに対する質問・質疑。続いて石井ブロック長による未組織訪問記録の報告と司会者による問題提起、全体的な質問と質疑応答を終え、最

後に岸里事務局長の閉会の挨拶で第1回正会員交流会は無事盛況のうち、少し早めに終了しました。

練馬腎患者ネット ワークの会合

理事 坂本悦男

11月30日(日)午後2時から1時間半に亘り練馬区内患者会の正会員および理事が集まり打合せを行った。内容は

(1)当日(30日)午前中に行われた練馬区内の防災訓練の腎患者ネットワークとしての対応、

(2)練馬区内の全透析者を対象とする「災害時の練馬区内の対策および透析の状況」についての講演会の開催、

(3)災害時や防災に関する事について、の透析患者の意識に関する調査、の3点であった。

(1)については区から伝達される透析病院の被害と稼働状況を正会員と理事の間で共有するための連絡網の確立。

(2)については2015年3月中旬を目標に区と共催で実施。

(3)については意識調査票を作成して早期に実施。という結論を得た。

出席は、優人大泉学園クリニック患者会の今岡嘉光氏、高松病院台クリニックのさくら会から岩上建美氏と小野崎勝氏、東海病院ひまわり会から山崎弘氏、そして東腎協理事として東海病院ひまわり会の工藤育夫氏と坂本悦男の以上7名である。

練馬区内の東腎協参加の患者会は全部で5団体あるが、今回唯一、優人クリニックの患者会の会長が所用のため欠席となり全患者会が



練馬腎患者ネットワーク会合

集まったことにはならなかったが、今後も行政と連絡を取り合いながら、区内の全透析患者の災害時の安全と安心の確保のために着実な活動をしていくことを出席者一同は確認して会合を終了した。

多摩ブロック正会員会議

理事 斎藤和巳

12月8日、武蔵野公会堂会議室で、多摩ブロック正会員会議が開催された。東腎協の会員の約4割から構成され、広い面積を有する多摩ブロックの活性化へ向けた取り組みの一つであった。

当日の議題については、2014年度下半期活動予定と、2015年度事業計画(案)の役員報告は、活動方針の確認を通して正会員との意思統一を図り、今後の運動の発展を目指すものであった。

今回、東腎協が各患者会の協力でもとめた「患者会実態調査」の結果報告が、調査に関わった小野ブロック長代行により行われ、その中で今後の患者会活動等の課題も語られた。



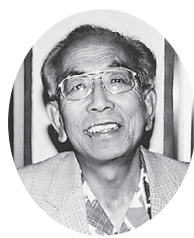
多摩ブロック正会員会議

なお、従来多摩ブロックは3グループ体制で運営されてきたが見直しがされることになったことの報告もなされた。

所定の議事終了後に、参加正会員による自己紹介と、患者会での活動についての発言があった。積極的な患者会の取組の例や、患者会員の高齢化による活動の停滞といった悩み等が語られた。その際には、東腎協から参加していた藤田会長との意見交換もなされた。

午前中の会議であったが、昼からは会場を近くの喫茶店に移し、懇親食事が行われた。

私と東腎協 ⑦



加々見俊六さん(75)

あけぼの友の会 (透析15年)

◆ 左腎臓がんで全摘出 そして透析導へ

現在、私たちが享受している透析医療費助成制度は、東腎協、全腎協の諸先輩の方々の過酷なる状況下での陳情活動の賜物と、また現在の諸活動を推進されている、藤田会長以下理事の方々に心より感謝と敬意を表します。

私は平成11年9月の透析導入で、透析歴15年になります。導入に至る経緯は、20歳代の頃より腎不全の気があり、健康診断の都度再検査でした。20〜40歳代は病氣知らずで会社(大手電機メーカー・設計業務)に勤務していました。50歳時、事業変化等業務上身体を酷使し、突然血尿と腰痛が起こり緊急入院となりました。

60歳時、尿細胞診結果がレベル3となり、約一年間東京女子医大に入院し、精密検査を

経て左腎臓がんと診断され、左腎臓全摘出手術と同時に透析導入となり、その後、あけぼの病院に転院し、現在にいたっています。もちろん、患者会(あけぼの友の会) および東腎協には即日入会いたしました。

◆ いかにかに社会貢献できるか

透析導入後4〜5年は仕事に専念していましたが、常に透析によって生かされた命をどのようにに社会に貢献できるかを考えていました。

その1は患者会役員としての社会貢献
その2は趣味のハワイアン音楽活動の貢献

患者会活動では、平成16年より役員活動に参加し、現在会長8期目です。また、東腎協・正会員を務めています。

活動は、高齢化に伴う会員減少、行事参加

率の低下等、衰退傾向にあり、また役員後継者不足等運営も年々厳しくなっております。このような状況下、患者会の活動も新たな展開を図る必要があると考えています(介護、入寮ベッド、通院搬送、災害等への諸対策)。

◆ 趣味はハワイアン、 自主公演も

一方、趣味の音楽活動は、現在町田市文化協会傘下のハワイ音楽協会にバンド名「カルアラニ」として加入し、町田市の行事(文化祭、公民館等)に出演し、また自主公演(8月)を実施しています。平成23年8月には上野野外音楽堂で開催の東日本大震災チャリティコンサートに出演し、また平成22年4月国分寺しホールで開催の東腎協多摩ブロック学習交流会の余興に出演し、交流をはかりました。

社会貢献とは別に、自らの透析生活をいかに楽しむかも大事なことです。私は、透析日朝の待合室(一種のサロン)での仲間との談話が本当に楽しみで勉強になります。また、気の合う仲間と月一回の食事会、そして年二回ほどの一泊旅行会も楽しみにしています。

最後に私の現在あるのも、あけぼの病院の医師、看護師、技師の献身的医療活動のおかげです。この場を借りて心より感謝申し上げます。

また、東腎協も今後とも私たち透析患者のためになお一層のご活躍をお祈りいたします。

私と東腎協

⑧



杉本 聡さん (57)

日野クリニック腎友会 (透析16年)

◆ 私の一日

朝六時に起き通勤は一時間十五分、八時には会社の机に着いています。朝礼、打ち合わせの後決裁書をチェック、イベントの企画立案、売り上げの管理など、モニターとのためっことで一日が終わります。

月金は十七時にはベッドで穿刺待ちの毎日です。楽しみは火木一杯の寄り道です。この生活が十六年間続いています。いつも家に着くのは二十三時頃で妻には大変迷惑をかけています。土日は仕事の時もありますが極力家族を優先しています。

◆ 振り返れば

最初は自分の運命を恨みました。順風満帆な会社生活が透析により大きく変わりました。

◆ 腎友会との出会い

営業の責任者から裏方のスタッフへ屈辱でした。しかし、今では命拾いしたと思っています。今のポジションは自分で作ってきたものです。下を向いていたらきっとはじき出されたでしょう。

シャントが詰まり八回、グラフト増設で五回の手術をし、今は表在化で何とか動脈硬化に恐れながら頑張っています。子供の教育費のため、家のローンの支払いのため、必死でシャントと闘ってきました。今は多少安堵感があります。

五年前、日野クリニック患者会の役員さんからお誘いを受けてからのおつきあいです。自分の世界に閉じこもっていましたが、入会して先輩諸氏の苦労話や体験談を聞いて大変

に勇気ももらいました。社会的には医療費の増大、高齢者の増加などで透析治療の環境は年々厳しい状況となっています。しかしながら周りには会の活動や世情に無関心な人が多く、自分の体調管理で手一杯なのでしょうが大変に残念です。皆さん腎友会にぜひ入会して組織として活動しましょう。

誰かがやってくれる、国に任せとけば何とかなる時代は終わりました。行動しなければ淘汰されるだけです。特に未来のある若い方は一歩踏み出してもらいたいと思います。

ちなみに日野クリニックでは総会、花見会、スポーツ大会、(望)年会、勉強会、チラシ配布等の活動を実施しています。

◆ おかげやまで

最近、銀幕のスターが相次いで亡くなりました。でも作品は永遠に残るでしょう。我々も何かを後輩に残さねばなりません。今の透析治療の環境は先輩方が勝ち取ってきたものです。

私は、毎朝今日一日頑張ろうという気持ちで起き上がり、生きていることに感謝をしています。特に家族、会社の同僚・上司、クリニックの先生を始め看護師の皆さんそして腎友会の仲間たちのおかげで今後も頑張れると思うし、生かされていると実感します。

私のモットーは『頭で食べ、頭で飲む。好きなものは我慢せずに少量ずつ』です。皆さんリンを抑えて明日からまた頑張らしましょう。



明けましておめでとぅございませす

二〇一五年一月

<p>医療法人社団 駿昭会</p> <p>小池内科</p> <p>院長 小池 昭夫</p> <p>〒102-0071 東京都千代田区富士見町2丁目13番16号上田ビル ☎03-32265-0203 FAX03-32265-0203</p>	<p>一般社団法人</p> <p>全国腎臓病協議会</p> <p>会長 今井 政敏</p> <p>〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1丁目20番9号 巣鴨ファーストビル3階 ☎03(5395)2631 FAX03(5395)2631</p>	<p>NPO法人東京腎臓病協議会</p> <p>会長 藤田 吉彦 副会長 小野 誠 戸倉 振一 須賀 春美 梅原 秀孝 東部ブロック長 石井 虎二 北部ブロック長 榊原 靖夫 多摩ブロック長 吉田 芳子 事務局長 岸里 悟 理事・オブザーバー一同</p>	<p>今年もがんばります</p> <p>寺田病院</p> <p>院長 寺田 光男</p> <p>〒168-0081 東京都杉並区宮前5丁目18番16号 ☎03-3332-1166 FAX03(3332)6765</p>
<p>医療法人社団 菅沼会</p> <p>腎内科クリニック世田谷</p> <p>理事長・院長 菅沼 信也</p> <p>〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4丁目21番14号 ☎03(5969)4976 FAX03(5969)4976</p>	<p>腎クリニック高野台</p> <p>院長 永田 雅子</p> <p>〒177-0033 東京都練馬区高野台 1丁目3番7号NFフラザII3階 ☎03(5910)3123 FAX03(5910)3123</p>	<p>東海病院</p> <p>院長 江本 秀斗</p> <p>〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 ☎03(3999)1131 FAX03(3999)7027</p>	<p>医療法人社団 秀祐会</p> <p>清湘会記念病院</p> <p>院長 畠山 卓弥</p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目17番24号 ☎03(3636)2301 FAX03(3636)3004</p>
<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p>幸町腎クリニック</p> <p>院長 渡辺賀寿雄</p> <p>〒190-0004 東京都立川市柏町4丁目1番1号 ☎042(536)3099 FAX042(536)3269</p>	<p>医療法人社団 晴仁会</p> <p>立川北口駅前クリニック</p> <p>院長 檜垣 昌夫</p> <p>〒190-0012 東京都立川市曙町 2丁目32番1号鳳山ビル4階5階6階 ☎042(523)2299 FAX042(523)2400</p>	<p>社会医療法人社団 健全会</p> <p>羽村相互診療所</p> <p>所長 小林 重雄</p> <p>〒205-0023 東京都羽村市神明台1丁目30番5号 ☎042(554)5420 FAX042(555)3151</p>	<p>医療法人社団 清湘会</p> <p>新中野透析クリニック</p> <p>院長 津田 信次</p> <p>〒164-0012 東京都中野区本町 3丁目23番3号新中野AM1ビル1階 ☎03(3370)8111 FAX03(3370)8129</p>
<p>社会医療法人社団 健全会</p> <p>すながわ相互診療所</p> <p>所長 小泉 博史</p> <p>〒190-0002 東京都立川市幸町5丁目9番2号 ☎042(538)1502 FAX042(534)0372</p>	<p>医療法人社団 長尽会</p> <p>長久保病院</p> <p>理事長 桑原 勝孝</p> <p>〒186-0011 東京都国立市谷保6907番1号 ☎042(571)2211 FAX042(571)2288</p>	<p>医療法人社団 清光会</p> <p>理事長 横山 志郎</p> <p>〒249-0001 神奈川県逗子市久木4丁目25番8号 ☎046(873)7141 FAX046(873)9991</p>	<p>医療法人社団 腎と水</p>



明けましておめでとうございませす

二〇一五年一月

<p>医療法人財団 織本病院 理事長・院長 高木 由利 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘1-261 ☎042-491-2121</p>	<p>医療法人社団 心施会 府中腎クリニック 院長 小杉 繁 〒183-0055 東京都府中市府中町 1-8-1 第7三ツ木ビル6F7F ☎042-(366)8909 FAX042-(334)2601</p>	<p>医療法人社団 心施会 練馬桜台クリニック 理事長 永野 正史 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番9号 ☎03-(5999)0823 FAX03-(5999)0823</p>	<p>医療法人社団 櫻会 十条腎クリニック 院長 街 稔 〒114-0034 東京都北区上十条2丁目13番1号 ガーデンア4階 ☎03-(3908)2411</p>
<p>医療法人社団 仁星会 医療法人社団 仁星会 理事長 稲田 俊雄 〒177-0033 練馬区高野台 1-8-15 ☎03-5372-6151</p>	<p>医療法人社団 北桜会 新線池袋クリニック 院長 日良純一郎 〒171-0021 豊島区西池袋 1-10-10 東武アネックスビル4階 ☎03-5911-1250</p>	<p>医療法人社団 北桜会 東武練馬クリニック 〒175-0083 板橋区徳丸 3-11-2 ☎03-5922-3530</p>	<p>医療法人社団 やよい会 あやせ駅前腎クリニック 院長 榎本 美穂 〒120-0005 足立区綾瀬 3-16-4 とうしんビル5・6階 ☎03-5697-8281</p>
<p>医療法人社団 湖聖会銀座病院 上野透析クリニック 院長 関 正則 〒110-0005 台東区上野 2-12-20 NBSロックスビル3階 ☎03-5817-8770</p>	<p>医療法人社団 仁星会 練馬高野台クリニック 院長 鈴木 重伸 〒177-0033 練馬区高野台 1-8-15 ☎03-5372-6151</p>	<p>医療法人社団 やよい会 飯田橋春口クリニック 院長 春口 洋昭 〒102-0072 千代田区飯田橋 3丁目9-3 SKプラザ2F ☎03-5215-1515</p>	<p>医療法人社団 やよい会 大泉学園クリニック 院長 草場 岳 〒178-0063 練馬区東大泉 5-40-24 サンダリオンビル3-5F ☎03-5697-8281</p>
<p>医療法人 埼友会 埼友草加病院 理事長 後藤 善和 〒340-0046 埼玉県草加市北谷1丁目21番37号 ☎048-(944)6111</p>	<p>医療法人社団 仁星会 南青山内科クリニック 院長 鈴木 孝子 〒107-0062 港区南青山 7-8-8-101 ☎03-6805-1836</p>	<p>医療法人社団 やよい会 新小岩クリニック 院長 西尾 恭介 〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22 ☎03-3694-5621 FAX03-3694-5628</p>	<p>医療法人社団 やよい会 飯田橋春口クリニック 院長 春口 洋昭 〒102-0072 千代田区飯田橋 3丁目9-3 SKプラザ2F ☎03-5215-1515</p>



明けましておめでとぅございませす

二〇一五年一月

<p>新小岩クリニツク船堀 院長 加納 達也 〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-4-24 ☎03-3688-9901 FAX03-3688-9973 医療法人社団 松和会</p>	<p>望星赤羽クリニツク 院長 喜田 浩 〒115-0045 東京都北区赤羽 2丁目11番3号 砂田ビル2階 ☎03(3902)0255 医療法人社団 松和会</p>	<p>望星新宿南口駅前クリニツク 院長 高橋 俊雅 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2丁目4番2号久保ビル3階 ☎03-3376-0191 医療法人社団</p>	<p>菊川橋クリニツク 院長 古川 猛 〒130-0024 東京都墨田区菊川2-11-1 ☎03-5600-2222 FAX03-5600-0805</p>
<p>健康会 二子玉川駅前クリニツク患者会 にこたま会 会員一同 〒158-0094 東京都世田谷区玉川 2丁目24番24号セゾン玉川1階 ☎03(3708)1166</p>	<p>日野クリニツク腎友会 会員一同 〒164-0001 東京都中野区中野5丁目44番6号 ☎03(3386)3166 FAX03(3386)9107 社会医療法人社団 健友会</p>	<p>中野共立病院腎友会・絆の会 読者の皆様新年あけましておめでとぅございます 本年もよろしくお願ひ申しあげます 吉祥寺あさひ病院 吉祥寺あさひ腎友会会員一同</p>	
<p>特定非営利活動法人 腎臓病連絡協議会すずらんの会 会長 高山 衛士 副会長 本橋 辰美 副会長 大山 勝久 〒178-0063 東京都練馬区東大泉 3丁目1番18の203号 ☎03(3924)9022 FAX03(3924)9024</p>	<p>東海病院 ひまわり会 会長 山崎 弘 副会長 坂本 悦男 会計監査 田川 忠司 幹事 大塚 隆 幹事 松貝 弥生 幹事 工藤 育夫 幹事 小室 富雄 幹事 吉田 義昭 幹事 野崎登喜治 幹事(代理) 高野台幹事 平井勢津子 〒176-0023 東京都練馬区中村北2丁目10番11号 ☎03(3999)1131 FAX03(3999)7027</p>	<p>練馬桜台クリニツクさくら会 会長 岩上 建美 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北4丁目11番9号 ☎03(5999)0825 FAX03(3994)8860 新中野透析クリニツク</p>	<p>新中野フェニツクス会 会長 塚田 久喜 会計 高澤 嘉宏 〒164-0012 東京都中野区本町 3丁目23番3号新中野AMIビル1階 ☎03(3370)8111 FAX03(3370)8121</p>
<p>森山友の会 会長 宗像 聡之 副会長 戸倉 振一 岸里 悟 〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目15番24号 社会医療法人社団森山医会 森山リハビリテーション病院透析センター1内 ☎03(3675)1211</p>	<p>江戸川区腎友さつき会 会長 戸倉 振一 〒134-0085 東京都江戸川区東葛西1丁目5番1号 ☎03(5658)0757</p>		



明けましておめでとうございませす

二〇一五年一月

<p>清湘会 新江東橋クリニック腎友会</p> <p>会長 畔上 常夫 正会員 秋山 充 相談役 金井 信憲 石川 仁司 会計 上松 一郎 会計監査 廣田 昭宏 副会長 木村 暢男 吉田 光行 金子 哲二 幹事 小林ひさ枝 石川 和男 鬼頭 斗 藤倉 照恵 高橋 修</p>	<p>菊川橋クリニック腎友会</p> <p>会長 酒井 豊 副会長 杉山 護 幹事 石井 乙雄 小島 英治 池田とめ子 佐野恵津子 牛島 実常 古川 瀧子 八巻 義行 亀倉 浩</p>	<p>エルピス株式会社</p> <p>常務取締役 堀江 好美</p> <p>〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区 東中島1丁目18番27号 ☎06(4809)5505 FAX06(4809)5575</p>	<p>株式会社 東京在宅サービス</p> <p>取締役社長 斎藤 英二</p> <p>〒160-0022 東京都新宿区新宿 1丁目5番4号YKBマイクガーデン201 ☎03(3354)0341 FAX03(3354)0373</p>	<p>扶桑薬品工業株式会社</p> <p>東京第一支店</p> <p>〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番5号 ☎03(5203)7101 FAX03(5203)7088</p>	<p>株式会社 教宣文化社</p> <p>代表取締役 中村 伸一</p> <p>〒359-0012 埼玉県所沢市坂之下794 ☎04(2944)4323 FAX04(2944)0118</p>	<p>株式会社 スタッフサービス・ビジネスサポート</p> <p>代表取締役 亀井 宏之</p> <p>〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台 1丁目7番7号トラスト・テック相模原ビル ☎042(776)6935 FAX042(750)2905</p> <p>特定非営利活動法人(NPO) 通院移送センター タンポポ</p> <p>理事長 小野崎 勝</p> <p>〒176-0012 東京都練馬区豊玉北 4丁目12番13号ノイメゾン桜台1階 ☎03(6751)7372 FAX03(6751)7374</p>	<p>あかつき印刷株式会社</p> <p>代表取締役 工藤 盛雄</p> <p>〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4の25の2 A Pビル ☎03(3497)0531 FAX03(3497)0043</p>	<p>ベータ食品株式会社</p> <p>代表取締役社長 原 年秀</p> <p>〒531-0076 大阪市北区大淀中 1丁目16番10号高石ビル5階 ☎06(6345)6222</p>	<p>新小岩クリニック友の会(船堀)</p> <p>会長 吉澤 正雄 副会長 當 喜美子 世話役 住安 重 世話役 大畑 ハナ 世話役 新見 範彦</p> <p>〒134-0091 東京都江戸川区船堀4丁目4番24号 ☎03(3688)9901 FAX03(3688)9973</p>	<p>新小岩クリニック友の会(本院)</p> <p>会長 吉澤 正雄 副会長 山口 隆 副会長 田崎 勲 世話役 橋本 旭子 世話役 藤本 光子</p> <p>〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-20-22新小岩クリニック内 ☎03(3694)5621 FAX03(3694)5678</p>	<p>イーホープペペセル</p> <p>代表 三好 哲夫</p> <p>〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通 2丁目2番25号ダイワビュアビル803 ☎078(855)5911</p>	<p>松和患者会</p> <p>会長 糸賀 久夫</p> <p>〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-9-2久保ビル3階 望星新宿南口クリニック内 ☎090-125-6466(糸賀携帯)</p>
---	--	---	--	---	--	--	---	--	--	--	--	---

障害者雇用に積極的 に取り組んで

企業の社会的責任

企業活動において、法令や規制といった最低限のルールを守るだけでなく、企業論理・行動規範の遵守は当然のこと、環境や人権、雇用などの社会的課題に積極的に貢献するとあります。

その理念の下、障害者雇用に積極的な取り組みをする先駆的な会社ができたということは、我々にとってもとても力強く希望の持てるものとなっています。

腎機能障害者、179名が働く

(株)スタッフサービス・ビジネスサポートの本社は神奈川県相模原市で、他に九州センター、大手町サポートセンター、東北サポートセンター、神奈川サポートセンターがあり、従業員430名中、179名の腎機能障害者が働いています。

特例子会社

2000年に設立されたスタッフサービス・ホールディングスの特例子会社で、「働く一人一人が、誇りと成果を実感できる会社」を目指し

てみんなで成長を応援しあう風土が特徴です。

シフト勤務とバリアフリー完備

シフト勤務になっておりAシフト8時半～15時、Bシフト11時～18時半で、透析日は15時に仕事を終え透析施設に向かえます。

車椅子の方でも社内移動でき、車椅子用のトイレも完備されています。また心身両面からサポートできるよう「健康管理室」が用意されています。保健師と精神保健福祉士がいて、勤務時間中の従業員の体調不良や不測の事態への対応を行っています。

万が一の時も提携医療機関として人工透析専門の医療機関が近所にあります。業務内容

業務内容

パソコンを使用したデータ入力業務、給与計算業務、社会保険業務また、印刷・製本・グラフィックデザイン、発送・物流、保管業務からテレフォンオペレーターサービスまで多種多様です。

人に仕事を合わせるという発想で、個々の能力や長所を引き出し、それを活かすよう心がけて取り組みがされています。

(株)スタッフサービス・ビジネスサポートから 社員募集のお知らせです

当社はスタッフサービスグループの特例子会社です。透析をしている方が多く働いている会社です。働く一人ひとりが、誇りと成果を実感できる会社をめざします。

- ◆募集職種 一般事務（各種入力業務・各種書類記入・電話応対・書類等の確認 他）
※高卒以上、PC操作（ワード・エクセル・メール）できる方
- ◆勤務場所 ①【大手町】千代田区大手町1丁目1-3 大手センタービル19階
②【池袋】豊島区西池袋1丁目7-7 東京西池袋ビルディング7階
- ◆勤務時間 月曜日～金曜日(シフト勤務・休憩60分)
- ◆休日休暇 土・日・祝日(完全週休二日制)
- ◆雇用形態 契約社員(契約は3ヶ月更新)
※正社員登用制度あり
- ◆給与 時間給制1,200円 各種社会保険完備
- ◆選考面接を就業先で実施いたします。



ご興味のある方は、当社担当者までお問い合わせください。

《当社問い合わせ先》◆TEL: 042-776-6935 ◆担当 総務人事部 採用担当

◆神奈川県相模原市中央区鹿沼台1-7-7 トラスト・テック相模原ビル

◆URL: <http://www.biz-support.co.jp/>

事務局から

ご寄付お礼

扶桑薬品工業(株)
 ○東京第一支店様(10月~12月)
 ご寄付ありがとうございます。

青い鳥葉書(切手) ご寄付一覧

【患者会】

嬉泉病院ニレの会
 阿佐ヶ谷すぎ腎友会
 (12月8日現在まで分、敬称略・
 順不同)
 葉書・切手等は沢山使用しますの
 でいつでもご寄付受け付けており
 ますので、今後共よろしくお願
 いします。
 ありがとうございます

表紙の作品募集

機関誌「とうじんきょう」の表
 紙に、会員の皆さんの作品を掲載
 いたします。絵画、陶芸、手芸、
 料理、…何でも構いません。

募集時期 随時募集

応募方法

出来るだけ作品を写真
 撮影して、プリントと作品コメン
 ト(400字以内)を添えて、郵
 送してください。

今後の活動予定

- 平成27年1月5日(月)
 事務局仕事始め
 1月10~11(土・日)
 全腎協第112回理事会(東京)
 1月25日(日)
 第106回理事会(C3)
 2月22日(日)
 第107回理事会(C2)
 2月27日(金)
 第9回じんぞう病治療研究会市民
 公開講座講演会
 3月7~8日(土・日)
 全腎協第113回理事会(東京)
 3月12日(木)
 世界腎臓デー
 3月15日(日)
 第26回腎臓病を考える都民の集い
 3月19日(木)
 全腎協・第44回国会請願(議員会
 館 場所未定)
- 3月22日(日)
 第108回理事会(C2)
 4月26日(日)
 第109回理事会(未定)
 5月16~17日(土・日)
 2015年度全国大会in長崎(仮称)
 5月24日(日)
 第110回理事会(未定)
 5月25日(月)
 JPA・国会請願(一般社団法人
 日本難病・疾病団体協議会)
 5月30~31日(土・日)
 全腎協第2回定期社員総会(東京)
 6月14日(日)
 東腎協第10回総会(未定)
 7月19日(日)
 東腎協第5回大会(アルカディア
 市ヶ谷「富士」)
 10月4日(日)
 第35回臓器移植普及推進キャンペ
 ーン

謝礼

採用の際には薄謝(図書券)
 を進呈いたします。

投稿のお願い

編集委員会では会員の皆様から
 の投稿を随時受け付けています。
 「なかまのたより」に投稿の方、
 内容は問いませんので、何でもお

寄せください。

編集部員(アルバイト)募集

機関誌「とうじんきょう」の編
 集部員(アルバイト可)を募集し
 ています。編集経験者、パソコン
 の出来る人、興味のある方も大歡
 迎、事務局(板橋)までご連絡く
 ださい。

東腎協事務局(豊島区南大塚2-
 40-11富士大塚ビル2F)

編集後記

○社会保障制度関連で国の動きが
 気になる今日この頃です。透析患
 者の生活が脅かされている現状が
 あるので、今後も患者申出制度・
 入院時食事負担・障害年金・医療
 介護等の動きを注視していきたい。
 会員の皆様にとって良いお年であ
 りますように。(岸里)
 ○新春鼎談に参加して、日本の透
 析医療のレベルの高さを改めて認
 識した。iPS細胞も近い将来必
 ず実用化されるだろうと秋澤先生
 は話された。私には縁がないかも
 知れないが、これから導入される
 方、若い患者には新年早々のお年
 玉かもしれない。

選ばれているのには理由があります。
頼れるコエンザイムQ10・
L-カルニチンサプリ...

新

Q10ペプセル

栄養機能食品(ビタミンE)

キューテン

**カラダに♡
とって大切です。**

**コエンザイム
Q10**
60mg*

L-カルニチン
120mg*

ビタミンE
15mg*

**でも、加齢と
ともに
不足します。**

*配合栄養成分
(2粒当り)

「透析/パンサイ」でおなじみの
山猫先生も
毎日飲んでます!

こんなことで
**お困りでは
ありませんか?**



倦怠感、血圧低下、息切れ、筋肉のツリなど...

**イーホープペプセルがお届けする
基本サプリメントで、確かな栄養補給を!!**

目安として、1日に1~6粒程度の
範囲でお召し上がりください。

たくさんの方々にお試しいただくために、お試し価格でご提供をいたします。

**お試し
販売価格 2,800**円

60粒入り1箱当り

★**一家族
初回1回1箱限り**

- 定価5,250円/1箱当り
- 会員特価4,700円/1箱当り
- まとめて2箱なら4,500円/1箱当り
- さらに3箱まとめれば4,300円/1箱当り
- 5箱以上お買い上げは4,200円/1箱当り

- ★ ペプセルシリーズは定価の5%引きで毎月発送致します。
- ★ 全て税、送料込み(離島を除きます)

商品の
お求めは

お電話で 受付時間 平日9:00~18:00
フリーダイヤル **0120-266-910**

不老(フロー) Q10(キューテン) FAXで **078-231-0330**
ネットで <http://www.clubshop.jp/>

イーホープペプセル 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2丁目2番25号 ダイワピュアビル803 平成24年4月より、ネット拠点を神戸に移転いたしました。

編集長になって二度目の新年号
でした。年々衰える脳回転と闘い
ながら、今年も頑張りたいと思っ
ます。
(板橋)

○総選挙が終わった。その最終的
な政治目標を「憲法改正」と公言
している安倍自民党が議席の多く
を占めた。
日本国憲法25条「すべて国民は
健康で文化的な最低限度の生活を
営む権利を有する」。この条文を
どのように「改正」しようという
のか、その動向を注意深く見守り
たい。東腎協の創立の精神と照ら
し合わせながら。
(白坂)

○写真の整理で、事務局を手伝っ
ています。といっても、デジタル
ではなく、昔のネガ写真です。
写真を観ていると、昔からいろ
んなことをやっていたんだなあと
感じられ、反面、最近、お会いし
ていない方も多いかなど。亡くな
られたり引退されたり、いろいろ
あるんだらうけれども。その時は
生き生きと活躍されていたんです
よね。

この仕事は、患者会の歴史が感
じられ、大変有意義なことだと思
っています。
(榊永)

○東腎協事務局でお手伝いを始め

4ヶ月になります。週に2、3回
のお手伝いですが、何となく忙し
く感じるこの頃です。医療保険の
改悪、要介護透析患者の通院問題
など今までならあまり考えなかつ
たこと、考えなくてはならないこ
とも増えました。

新しい年にそれらに自分がどう
関わっていくのかゆくり考えた
と思います。
(長井)



大國魂神社(府中市)の初詣

1900年の歴史を持つ大國魂
神社は、大國魂大神(おおくにた
まのおおかみ)武蔵の国の守り神
としてお祀りした神社で、出雲の
大國主神と御同神で、大昔、武蔵
の国を開いて人々に衣食住の道を
教え、医療法やまじないの術など
も授けられた神です。俗に、福神
縁結び、厄除け・厄払いの神とし
て著名です。

表紙のごとば

「1. 27腎臓病患者の医療・生活の崩壊を食い止める緊急集会」
全腎協の4つのお願い

1 混合診療につながる患者申出診療制度の導入はしないで下さい。

保険の効かない医療が広がり、お金がなければ治療が受けられなくなる「金の切れ目が命の切れ目」の時代が再びやってこないか心配です。

2 医療の一環である入院時食事の負担引き上げはしないで下さい。

一食の負担が260円から460円に引き上げられようとしています。

1ヶ月入院したら食事代だけで4万円以上も負担することになります。

3 透析患者及び腎移植者の障害年金は2級として継続して下さい。

年金の等級見直しが検討されています。基準が厳しくなり、障害年金がもらえなくなるのではないかと心配です。

4 誰でもどこでも途切れのない医療・介護が受けられる体制にして下さい。

将来は入院ベッドが削減され、特養入所もさらに厳しくなります。在宅で生活をしたいとも要介護透析患者は通院が保障されなければ介護透析難民になってしまいます。

個人会員会議のご案内

個人会員各位

個人会員の皆様には、ご健勝にて新春を迎えられたと存じ、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年の「個人会員アンケート」調査へのご協力を感謝申し上げます。個人会員の皆様の実態、東腎協への要望など貴重なご意見を頂きました。

つきましては、下記のように「個人会員会議」を開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、多くの方にご参加いただければ幸いです。

東京腎臓病協議会会長

藤田 吉彦

記

日時：2015年3月1日（日）

場所：未定

内容・実態調査報告と意見交換

- ・東腎協運営の報告
- ・災害対策
- ・今後の活動、要請

なお、正式なご案内は1月初旬にお送り申し上げます。



第5回大会（平成27年7月19日開催予定）
のイベントについて

今年行う予定の第5回大会は「元気な日常生活をしている透析患者」をテーマとして開催したいと考えています。

そこで日々の生活に自分たちの趣味やサークル活動の成果を皆様の目に焼き付けたいと考えておられる方々の積極的参加をお待ちしています。次の要領で大会事務局までお知らせ下さい。

記

1. 趣味や作品の展示に関して
写真、絵画、彫刻、手芸などの作品を当日会場に展示します。
2. サークル活動、自信の芸などについて
合唱、ダンス、楽器演奏、落語、物真似、ソプラノソロなど大会当日披露して頂きます。

【申込み方法】

電話又は手紙で大会事務局に連絡する。展示あるいは当日披露かをはっきりさせる。
大会事務局（担当：板橋）
連絡先：〒170-0005

豊島区南大塚2丁目40番11号
富士大塚ビル2階
☎03-3944-4048

東腎協からのパブリックコメントは25ページに掲載

緊急集会

1.27

「腎臓病患者の医療・生活の崩壊を食い止める緊急集会」

日時：2015年1月27日(火)11:00~14:00

場所：参議院議員会館

主催：全国腎臓病協議会

第26回

腎臓病を考える都民の集い

日時：2015年3月15日(日)14:00~16:30

場所：都民ホール（東京都庁議会棟1F）

講演Ⅰ：「腎臓病の予後改善を目指して」
昭和大学医学部客員教授
秋澤 忠男 先生

講演Ⅱ：「慢性腎臓病予防のための食生活改善十訓」

川崎医科大学附属病院栄養課長

市川 和子 先生

主催：NPO法人東京腎臓病協議会

共催：東京都

腎臓病患者の医療・生活の崩壊を食い止める緊急集会1.27

NPO法人東京腎臓病協議会からの パブリックコメント

2014. 12. 26

今回審議されている内容はまさに透析患者にとって大変厳しいものであると感じます。国の医療費が過大になり圧縮を図ることを、それぞれの行政担当セクションが検討することは当然であると感じますが、弱者である患者（特に低所得者）の負担の抑制に配慮が必要であります。透析医療に関する診療報酬が過大であれば、それに対し正当な削減策を出し議論すべきと思います。（透析患者としては、診療報酬が削減されれば結果的に患者に対する診療内容の改悪が予想され大変心配なことであります）。

今検討されている、混合診療の導入は「先進医療の優良医療を保険診療に導入という一面」と「保険外診療の増加による患者負担の増加という一面」の二面性があるわけであり、導入するのであれば、改悪に繋がることを排除されるよう制度設計がなされてからの実施が望まれるわけであり、十分な検討を加えていただきたいと思っております。

最近の厚労省の提案は弱者である患者に多くの負担を求めると見え、透析患者としては危険性を感じております。例えば「透析患者の障害者の認定基準の降格」の提案であります。これは結果として専門委員会で否認されたようですが、これが認められれば多大なる影響が透析患者にあったわけであり、また、移植者の障害者年金の1年で打ち切りの提案も本人の状況を見て、との専門委員会の判断となったようですが、これらの厚労省の動きは非常に心配なことであります。移植に関しては、特に働く若者の移植に対しては十分な期間に渡り障害年金を支給しながらでも積極的に支援し、彼等が働き納税が行われるような環境になるよう推進すべき医療であると感じます。

入院食事代の80%に近い値上げも、患者という弱者にとって急激かつ大きな負担です。まして透析患者は年最低156回の通院を余儀なくされており、これに対する費用・肉体的疲労・時間的損失は人生の在り方を変えるものであります。特に真面目に働けど収入の少ない（特に障害者は全般的に少ない恐れがある）障害者を苦しめる結果は目に見えているわけであり、そこに、さらに入院と入院費の高騰という状況となれば生活が苦しくなることが予想に難くないわけであり、結果的に生活保護への道への選択に繋がりがかねないこととなります。

以上、厚労省は今後の医療費削減に対し、真正面から取り組み、そこには弱者への配慮を重視し、大きな改革による、例えば予防医療の充実やIT化の推進（合理化・情報の共有化・医療費の削減・災害時の対応など）などをすべきであります。厚労省には問題の本質を見極め真正面から取り組むことを願っております。

以上

本文24ページもご参照ください

皆様の健康生活をサポートします

新エルピス誕生!

エルピスは、皆様の栄養補給を目的に開発された栄養ドリンクです。
皆様に不足しがちな栄養成分や健康維持に必要な栄養成分をバランスよく配合しています。
皆様の健康で快適な透析生活を維持するためにご利用ください。

注目のアミノ酸 オルニチン新配合! 1本にシジミ300個分



配合栄養成分(1本50mlあたり)



エルピス 合成保存料無添加

栄養機能食品

内容量:50ml/瓶 1日の目安量:1本

新エルピスは**30本入り**です。

販売価格 **30本入り 6,480円** 送料無料で
税別本体価格 6,000円

オルニチン

カンジナナメ
「肝腎要」という言葉がありますように、肝臓と腎臓は、双方とも健康を維持するうえで重要な臓器です。オルニチンは、肝臓の健康を守り、肝臓が正常に動くために必要な栄養素です。この働きには、アルギニン、アスパラギン酸も深く関わっています。オルニチンは、疲れにくいカラダづくりに役立つ栄養素です。



シジミに多く含まれる栄養素です。

5つの栄養成分がカラダを守ります。



配合栄養成分(1粒400mgあたり)

販売価格 **1箱 3,960円**
税別本体価格 3,670円 送料無料で

内容量:60粒(ソフトカプセル)/1日の目安量:1~2粒

栄養補助食品 **エルピスコエンザイム粒**

皮膚・肌・粘膜の健康維持を助ける

うるおい粒

栄養機能食品
ビオチン



配合栄養成分(6粒1800mgあたり)

販売価格 **1箱 5,400円**
税別本体価格 5,000円 送料無料で

内容量:180粒(アルミパウチ90粒入り×2袋)/1日の目安量:6粒

ご購入・お問い合わせ

0120 FreeDial **0120-393-578**

インターネット ホームページ

エルピス 栄養ドリンク 検索

受付時間 平日:9:00~18:00
土・日・祝祭日休業

エルピス株式会社

大阪市東淀川区東中島1丁目18-27

FAX 06-4809-5575